

と運ばれていった訳ですが、その中継地として、又日本三大河湊の一つとして繁栄を極めた町となっていたのです。鉄道が敷かれることにより、町は舟道がさびれていき、今では往時のおもかげは見るすべがありませんが、もし機会があったら、歴史とロマンにあふれる津川の町へ、是非お訪れて見て下さい。

会員増強のしおり：

ロータリー・クラブは奉仕の場提供する場でなければなりません。しかし適格の人々が新会員として推薦されないなら、奉仕活動を続けることはできません。クラブの各会員は適格の男女を推薦することによってロータリーを拡大することができるのです。

四つのテスト

— 言行はこれに照らしてから —

- | | |
|------------|------------------|
| I 真実かどうか | III 好意と友情を深めるか |
| II みんなに公平か | IV みんなのためになるかどうか |

1月3日例会： 休会

1月10日例会： 会長年頭の挨拶

1月17日例会： ロータリー理解推進月間



三条北ロータリークラブ週報

友達になろう

BE A FRIEND

国際ロータリー会長 ビル・ハントレー 第2560地区ガバナー 大島精次

例会日
1994. 12 . 27
累計 No 396
当年 No 25

会長／大野新吉

幹事／米山忠俊

SAA／馬場直次郎

例会日／火曜日 PM12:30～1:30

例会場／三条ロイヤルホテル ☎34-8111

事務局／三条市西四日町3-15-34

ヒューマン・ハーバー内 ☎35-7160
FAX ☎33-8972

行事： 会員卓話「私の一年」淵岡 茂会員

「ふるさとの歴史を語る」馬場直次郎会員

出席： 本日の出席 52名中44名

先週の出席率 52名中49名 94.23%（前年同期80.00%）

先週のメイクアップ： 12月21日 三条RCへ 山上茂夫さん 鈴木英友さん

22日 燕RCへ 吉川吉彦さん

26日 三条南RCへ 中條耕二さん

ビジター： 三条南RCより 垂沢喜一郎さん

会長挨拶： 大野新吉

先週のクリスマスパーティーに多数の会員の出席と又歴代会長さん全員のご出席と親睦委員のご協力で例年にない盛り上がりとなり大変感謝申し上げます。本日の例会で大野年度が半分終わろうとしています。思い出せば会長エレクト研修セミナーが4月16日高田RCホストで開催され、これ以降5月21日のロータリー財団、米山奨学会セミナーが直江津RCのホストで開催、翌22日これ又同クラブホストで地区協議会続いて7月17日会長幹事会が小千谷RCホストで開催、本成度クラブの目玉である公式訪問が翌々日の7月19日開催、協議会に入る前の午前中に野村分区代理と大島ガバナーより南部会員のご好意によりヘリコプターで第四分区を上空よりご観覧致すべく米山幹事とリハーサルもとどこうりなく終え、好天候の蒲原平野を遊覧致しました。又加茂RCの会長外山さんよりは自社ビルの屋上で旗を振るから搜してくれとの話もあり、上空を2回～3回と旋回して外山会長を搜し回った事が昨日の様に思い出されます。

その後9月11日三条RC特に野村分区代理のもとでIMが開かれ9月16日～18日の三日間堀川ライラ委員長のご出席で国立妙高少年自然の家でライラ研修があり、翌月10月29日、30日と高田RCホストで地区大会があり、その帰途時GSEチームメンバー中一番若いしかも美人のメラニーさんを北クラブに迎え国際奉仕委員長佐藤さんのご好意でホームステイされました。出席メンバーと敏

迎会をして当クラブのGSEチームメンバー案内役日は折も折、三クラブ合同例会の当日の2日に行われ、絶好の秋の行楽日和りの中で、私の運転で保内公園下田郷への研修が行われ、夜の三クラブの合同例会に出席、言葉の通じない悲しさから彼女をなかせる一場面もございました。もうすぐお正月、体調にご留意され新年1月10日には元気な笑顔で再会しましょう。

幹事報告： 米山幹事

- ◇ RI、国際ロータリー会長指名委員会より1996～97年度国際ロータリー会長にアルゼンチン、ブエノスアイレス州アレシヘスRCのルイス・ビゼンテ・ヒアイ氏が満場一致で決定の報告がありました。
- ◇ 明るい町づくり推進委員会より先般スマイルBOXより寄付をいただきましたが、その礼状が届いております。
- ◇ RIより1995年1月1日より為替レート変更のご案内
現行1 \$100円→1 \$98円
- ◇ 十日町、十日町北RCより「現況報告書」の恵送がありました。
- ◇ 1月3日は休会です。10日は新年初例会で理事会があります。

米山功労法人表彰式：餞心亭おゝ乃様

委員会報告：

ロータリー財団委員会 吉川委員長

1月1日～6月30日まで為替レートが1 \$98円になりますので、是非ご協力をお願いします。

ニコニコボックス：

齋 藤 正 君 うれしくもありうれしくもなし。再婚に際しての素直な気持ちです。会長、幹事をはじめ会員の皆様には大変お世話になりました。子作りは不可能ですが、二人で寄り添って歩んでゆきたいと思います。一層のご指導をお願い申し上げます。

米 山 忠 俊 君 本年最後の例会になりました。大変お世話になりありがとうございました。

長谷川恵慈君 一年間お世話になりました。来年もよろしくお願いします。

柄 沢 憲 司 君 協力して。

大 野 新 吉 君 本日の例会で今年最後となりました。この間のご協力本当に有難うございました。来年も何卒宜しくお願い申し上げます。

佐 藤 義 英 君 今年もいろいろお世話になりました。どうぞ皆様良いお年を!!

堀 川 正 幸 君 淵岡さん、馬場さん、楽しい話を期待しています。

今 井 克 義 君 先日雪の日、石上大橋で2回も追突してしまいました。2回共幸いに相手の車は異常なし。私のシビックは大破に近い状態です。皆様スリップには十分注意を!!

梨 本 清 一 君 淵岡さん、馬場さんごめんなさい。途中で失礼をいたします。皆さん、よいお年を!!

皆様、良いお年を!!

卓 話： 「ふるさとの歴史を語る」 馬場直次郎さん



私、生まれも育ちも新潟県は東蒲原でございます。「東蒲原、東蒲原」と言っても、いささか広うございます。東蒲原は津川の町にございます。阿賀野川で産湯を使い、姓は、「車」、名は寅次郎というのが、寅次郎と直次郎、まあ似たような名前の方ですね、津川町と言うと最近では天気予報で有名になり、この町の名前を知らない人は少ないようですが、夏のクソ暑いのは津川、そして冬の寒さも県下で一、二番ということで、なかなか大変なところですよ。それもこれもこ

の町が大きな山に囲まれ、盆地特有の気象状況が現われておる訳なのです。

今日は、私の生まれ故郷である津川の歴史について、お話しをしてみたいと思います。開町四百年という長い歴史をもつこの町は、明治十九年まで岩代の国、会津に属しており、そのせいでしょうか、文化も言語も、そして風俗、習慣も会津に近いものをもっておりました。しかし遠く歴史を逆かのばれば、平安末期頃、その当時、新潟県は越の国と呼ばれておりました。その頃越の国を支配しておりましたのは恒武平氏の流れを汲む、平維茂の子孫であるところの城資永という大豪族だったのです。同じ頃、会津では法相宗を開基した、徳一大師建立の恵日寺が強大な僧兵をようし支配をしておりました。又、奥州では平泉の藤原氏が青森、岩手、宮城、山形と勢力を伸ばしてきており、その力に対抗する為、両者とも同盟を結ぶ必要に迫られ、城資永の叔母を恵日寺の法主である乗丹坊に嫁がせ、そして、その折に引出物として小川庄、今の東蒲原の全てを恵日寺に寄進してしまったのです。その時から東蒲原郡は新潟県の手を離れ、明治十九年になるまで七百年の永き間、会津の支配下に入った訳なのです。

恵日寺の支配は永く続かず、奥州平泉の藤原泰衡を滅ぼした源頼朝は武力にものを言わせ、恵日寺から会津一円を取り上げてしまいました。その後、すぐ鎌倉幕府の有力な御家人である三浦氏の一族である佐原義連に会津を支配させたのです。三浦半島出身の佐原氏は四百年にわたり、会津、及び仙道をも領する大々名になっていたのです。津川には一族の金上氏を配し、越後口の備えとしたのです。今までも町のシンボルであるところの麒麟山には津川城別名孤戾城として本丸、二の丸、出丸、馬場跡として残っており、往時のおもかげが色濃く残っております。

天正十七年、米沢の伊達正宗によって滅ぼされ、四百年にわたる芦名氏の会津支配は幕を閉じたのです。その後は伊達正宗、上杉景勝、蒲生氏郷、そして加藤嘉明と代わり、江戸幕府以降は徳川氏一門の松平氏の支配となり、寛永四年の一國一城令により津川城は破却され、それ以降は城下町から湊町として変わっていったのです。

会津でとれた米、漆、木材を大坂へ、そして大坂からは塩を始め、色々な物質が新潟経由で会津へ